

草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ケニア共和国
2. 案件名	生理環境改善による女性のエンパワメントプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ケニアにおいて少女・女性が自立していくことを妨げる大きな課題の一つとして、月経衛生対処がある。適切な月経衛生対処が行えない環境下では、女性の教育や社会参画の機会が妨げられ、女性の可能性が大きく遮断される。当該国では、月経に対する正しい知識が乏しく、女性と少女の約 65%は生理用品を買う余裕がないと言われ、思春期の少女の半数以上が生理期間中に学校を欠席（年換算で 2 ヶ月間）しており教育を受けられていないことが課題となっている。適切な月経衛生対処の重要性を訴えることは大人の体へと成長していく女性と女兒にとって、公衆衛生上とても重要である。生理環境を改善し、教育や社会活動の機会を少しでも多くつくることで女性たちが自身の能力を向上・発揮できるコミュニティづくりに寄与する、取り組むべき課題である。
4. プロジェクト目標	女性が適切な月経衛生対処が行えるようになるとともに、男性や社会に根付く生理や性への偏見がなくなり、女性が自身の能力を開花できるコミュニティの土台が醸成される。
5. 対象地域	ホームベイ郡ラチュオニョ区地域
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	1) 直接受益者 ・ホームベイ郡ラチュオニョ区地域住民 90 村 3500 世帯／小中学校 24 校 2) 間接受益者 ・90 村 2850 世帯／ホームベイ郡及び保健省、教育省
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 村と学校において正しい月経衛生対処の知識が高まる。 2. 生理用品作成トレーニング及び所得向上により、市販および手作りの生理用品を利用できるようになる。 3. 水のアクセスが改善され、生理期間中の身体および手作り生理用品を清潔に保てるようになる。 4. 地域住民が性や生理に対して正しい認識を持つようになり、偏見や固定概念が解消される。 <活動> 1-1 年間 30 村及び 8 校にて月経衛生対処意識を促すワークショップを開催する。 2-1 月経衛生対処意識を促すワークショップを開催した村と学校にて生理用品作成トレーニングを実施する。 2-2 年間 30 村にて各村 20 名を対象に農業専門家による技術トレーニングと定期的なフォローアップを行う。 2-3 市場、バス、バイクタクシー乗り場、学校等で農作物及び手作り生理用品の販売

	<p>を行うとともに、適切なお金の使い方、管理の習得を促す。</p> <p>3-1 年間 30 村にて各村 30 名を対象に水専門家による技術トレーニングを実施する。</p> <p>3-2 定期的なフォローアップにより適切な技術習得を促す。</p> <p>4-1 「国際ガールズ・デー」などの世界デーに合わせた啓発活動キャンペーンを実施する。</p> <p>4-2 年間 30 村にてコミュニティ対話の場を設け、女性だけでなく男性の意識変革を促す。</p>
8. 実施期間	(西暦) 2025 年 11 月～ 2028 年 10 月 (3年0ヵ月)
9. 事業費概算額	60,476 千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	SAWA YUME KENYA(現地 NGO)
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	特定非営利活動法人日本ハビタット協会
2. 主な活動内容	国連ハビタット（人間居住計画）と共に国内外の紛争、貧困、災害で悪化した居住環境を改善し、人々が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進